



自助・共助・公助

災害時には、「自助・共助・公助」の連携が自分や地域の被害を最小限に抑え、早期に復旧・復興するために必要です。

ふだんから、自助・共助・公助を意識して、備蓄や地域の交流などを行いましょ。

【自助】

自らの身は自分で守ることを。ふだんから災害に関する知識を身につけ、家庭内での話し合いや備蓄など、災害に対する準備をしましょ。

【共助】

自分たちのまちは自分たちで守ることです。消火や救出を真っ先にやるのは地域の皆さんです。いざというときの連携のため、ふだんから近所と交流しましょ。

【公助】

市をはじめとした行政機関などが



が行う応急対策のことです。

自主防災組織を作ろう

自主防災組織は、地域で協力し合い災害からまちを守るため、自主的に結成する組織です。役割分担や運営など、地域の実情に合わせて計画してください。

市では、自主防災組織に対して補助金を交付し、その育成を支援しています。町会や自治会などが中心となっていて、地域防災の核となるような自主防災組織を作りましょ。



消防サイレンにご理解を

市内で火災が発生した場合、市民への警報を目的としてサイレンを鳴らしています。

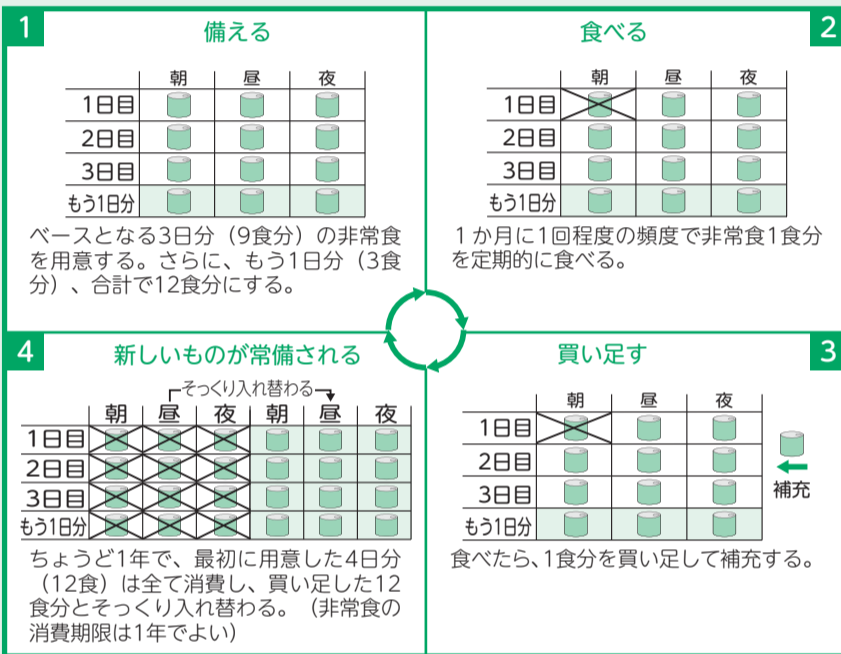
また、毎月1日（1月を除く。土曜・日曜・祝日の場合は、翌日以降の最初の平日）の午前8時には、広く火災予防を呼びかけるため、サイレンを鳴らしています。皆様のご理解をお願いします。

日常備蓄を備えよう

市では、災害発生時に避難所を開設し、避難者に対して支援を行います。自宅が倒壊等しておらず、安全が確保できる方には在宅避難を促しています。その際に必要な非常食の日常備蓄の方法の一つに「ローリングストック法」があります。

「ローリングストック法」とは、日常的に非常食を食べて、食べたらいし買い足すという行為を繰り返し、常に家庭に新しい非常食が備蓄される「食べ回しながら備蓄する」という方法です。(右図)ぜひ、ご自宅で実践してみてください。

ローリングストック法とは



重要な役割を担う消防団

災害が発生したときは、市を含めた関係防災機関が連携し、災害救助や被害拡大防止などの防災活動を行います。

中でも消防団は、市内在住・在勤・在学者の有志で組織され、本業をもつかわら、奉仕の精神により市民の生命や財産などを守るため、昼夜を問わず活動しています。訓練などの消防団の活動へのご理解・ご協力をお願いします。

【消防団員募集】

市消防団では、団員を募集しています。入団方法等詳しくはお問い合わせください。

■資格等要件 市内在住・在勤・在学の入団日時時点で18歳以上の方

避難場所一覧

災害時は移動しやすい場所へ避難してください。

【一時避難場所】

ようすを見るため、いとき避難する場所です。正確な情報を得て、地域ぐるみで活動する拠点です。

第一小学校	第二中学校
第二小学校	東中学校
第三小学校	緑中学校
第四小学校	南中学校
東小学校	東京電機大学中学校・高等学校
前原小学校	法政大学緑町グラウンド
本町小学校	上水公園運動施設
緑小学校	中央大学附属中学校・高等学校
南小学校	多摩科学技術高等学校
第一中学校	梶野公園

【広域避難場所】

火災が広範囲におよんだとき、熱や煙、有毒ガスなどから身を守る、延焼の危険のない場所です。

都立武蔵野公園(都立野川公園・国際基督教大学高等学校を含む)
東京農工大学(栗山公園を含む)
都立小金井公園
東京学芸大学
多磨霊園

小金井市防災地図

